

みえ生と死を考える市民の会（発足21周年）記念講演会

# ひとも 生きものとして、 ふつうに生きる

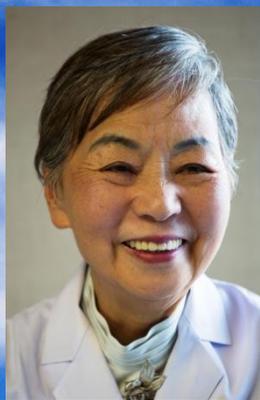
生命誌の研究者と、在宅ホスピス医が語りあう

日 時 2019(令和元)年 9月16日(月・祝)  
13時30分 受付開始 講演 14時～15時30分

## 講 師

なかむら けいこ

中村桂子さん



## 対談者

ないとう

内藤いづみさん



略歴 1936年生まれ。東京都出身。東京大学大学院生物化学博士課程修了。理学博士。三菱化成生命科学研究所人間・自然研究部長、早稲田大学人間科学部教授を経て2002年よりJT生命誌研究館館長。

「人間は生きものであり、自然の一部である」を生命誌として実践追及。近著の『「ふつうのおんなの子」のちから』（集英社）は生命誌を考えた結果の「ふつう」の視点です。

略歴 1956年生まれ。山梨県出身。福島県立医大卒業後、東京女子医大内科等に勤務。1986年から英国のホスピスで研修を受け、1995年甲府市内に、ふじ内科クリニック開業し現在に至る。

日本ホスピス・在宅ケア研究会 元理事。ホスピス在宅ケア研究会やまなし代表。2017年度大正大学客員教授。「死ぬときに後悔しない生き方」の他に著作多数。在宅ホスピス医の先駆者。

会 場 (津市) 三重県総合文化センター フレンテみえ 多目的ホール  
入場料 全席自由 500円 会員無料 事前申し込み不要

主 催: みえ生と死を考える市民の会

ホームページ: [http:// seitoshi.umin.jp](http://seitoshi.umin.jp)

後 援: 三重県医師会・三重県保険医協会・公益社団法人 三重県看護協会・三重いのちの電話協会  
三重県医療ソーシャルワーカー協会・北勢緩和ケアネットワーク・三重中勢緩和ケア研究会  
南勢地域緩和ケアネットワーク・毎日新聞・中日新聞・朝日新聞

当日は駐車場が混み合うと予想されますので早めにお越しください。公共交通機関が最も便利です。

問い合わせ先: できるだけ手紙・ファクス・メールをご利用ください。

〒516-0805 伊勢市御薊町高向927「縁(えにし)の家」 みえ生と死を考える市民の会

電話 0596・63・5226

FAX 0596・63・5236

メール: [homecare@amigo2.ne.jp](mailto:homecare@amigo2.ne.jp)